

第64期 株主通信

平成23年4月1日～平成24年3月31日

sawai TODAY



TOP MESSAGE

ジェネリック市場拡大の好機を捉え、さらなる成長を通じて企業価値向上を目指します。

sawai TOPICS

平成24年度診療報酬改定で、ジェネリック医薬品の幅広い使用促進策が盛り込まれました。

なによりも患者さんのために

沢井製薬株式会社

証券コード 4555

増収増益を達成。利益は計画を大きく上回ることができました。

株主の皆さまにはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。第64期の株主通信をお届けするに当たり、日頃からのご支援に厚く御礼申し上げます。

ジェネリック医薬品業界は平成22年4月の「後発医薬品調剤体制加算」の見直しを含む制度変更等の使用促進策にもかかわらず、数量ベースシェアが23%台で頭打ちになり、第64期中はほとんど横ばいで推移しました。その一方で、世界最大手ジェネリック医薬品メーカーによる国内有力メーカーの買収、国内外大手新薬メーカーの長期収載品とジェネリック医薬品部門の一体化による営業力強化など、競争環境はますます厳しくなっています。

こうした状況の下、当社グループは中期経営計画「M1 TRUST」最終年度の目標達成に向け、6月に11成分14品目、11月に12成分25品目の新製品を発売し、卸・販売会社と連携して処方元への営業強化に取り組みました。特に11月発売のアトルバスタチン錠は、参入メーカーの比較的少ない品目を上市できたことにより、開発技術力の高さを対外的に示すとともに、売上に大きく貢献しまし

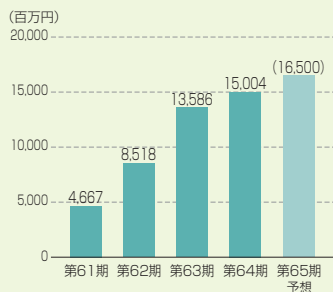
た。また、生産面においては関東新工場建設に着工し、安定供給体制のさらなる向上に取り組みました。

これらの結果、当期の連結業績は、売上高は67,603百万円(前年同期比5.9%増)と中期経営計画の目標を下回りましたが、利益面では営業利益15,004百万円(同10.4%増)、経常利益15,096百万円(同18.8%増)当期純利益は9,026百万円(同25.7%増)と大幅な増益を達成し、計画を大きく上回ることができました。

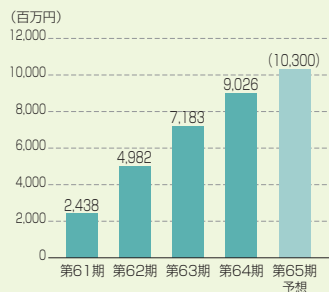
本年4月にジェネリック医薬品の新たな使用促進策が実施されたことを契機に、今後は、患者さんや保険者の薬剤費削減意識が高まることなどを背景に、市場が大きく拡大すると期待しています。当社ではこの好機を捉え、さらなる成長を通じて企業価値向上を図るために、新たな中期経営計画「M1 TRUST 2015」を策定しました(本誌P3-5)。

今後とも「なによりも患者さんのために」の理念のもと、さらなる飛躍を目指して邁進してまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

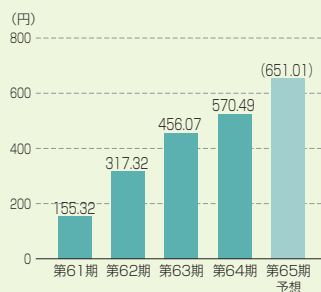
営業利益



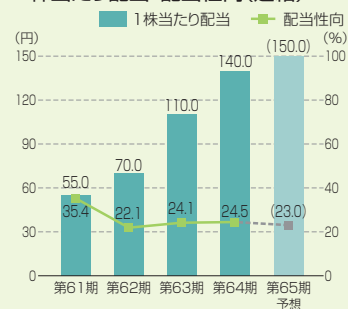
当期純利益



1株当たり当期純利益



1株当たり配当/配当性向(連結)



なによりも患者さんのために patients first

- 1 「真心をこめた医薬品を通じ、
人々の健やかな暮らしを実現する」
それが **sawai** の使命です。
- 2 「創造性を追求し、
革新と協調により社会と共に成長する」
それが **sawai** の挑戦です。
- 3 「お役に立ちたいという心を持ち、
なくてはならない存在になる」
それが **sawai** の願いです。

CONTENTS

ごあいさつと業績のご報告/ 第64期 連結財務ハイライト	1
新中期経営計画「M1 TRUST 2015」の概要	3
TOP MESSAGE—新中期経営計画のご紹介	5
sawai TOPICS	6
連結財務諸表(要約)	7
会社概要	9
株式情報	10



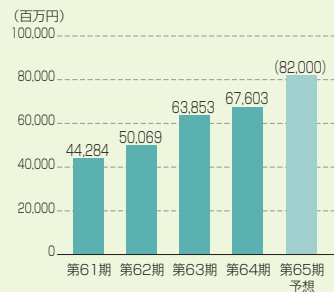
代表取締役会長
澤井 弘行

代表取締役社長
澤井 光郎

第64期 連結財務ハイライト

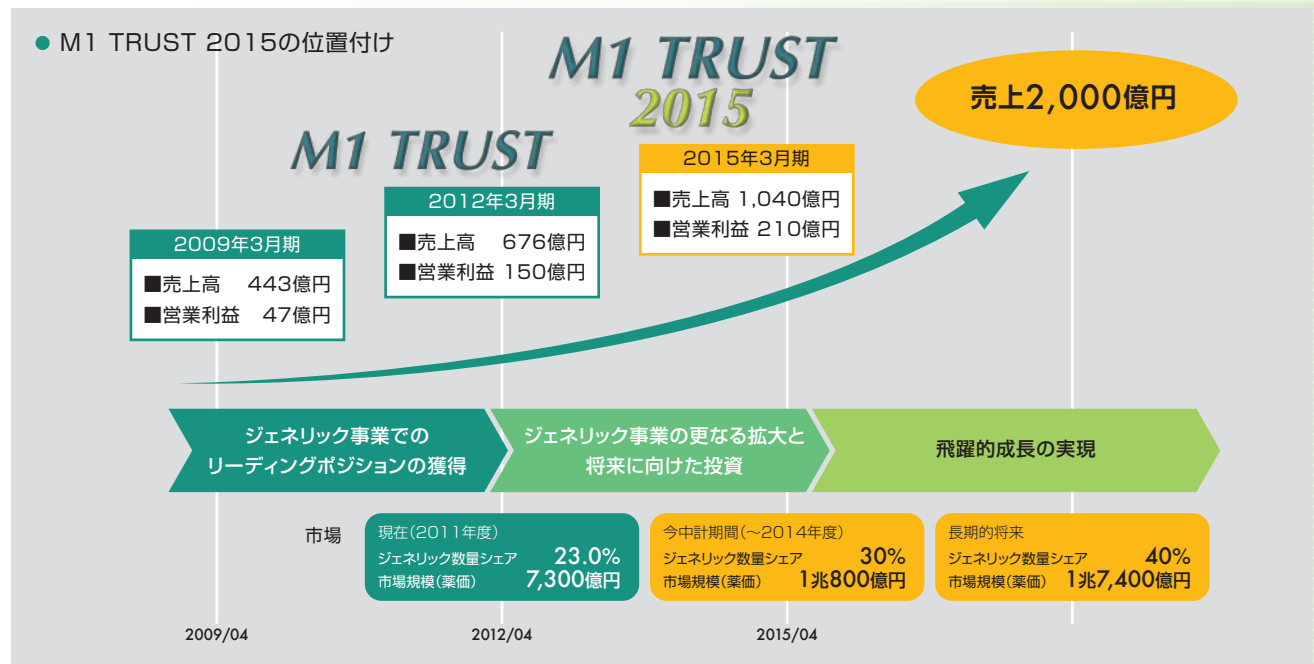
※()は通期の予想

売上高



「M1 TRUST」の精神を受け継ぐとともに、 中長期ビジョンの達成に向けて飛躍的成長を実現するための 「跳躍台」と位置付けています。

前中期経営計画「M1 TRUST」では、市場成長率を大きく上回る売上高の伸長、徹底したコストコントロールと効果的な戦略投資による経営体質のさらなる強化、ゆるぎない「サワイ」ブランドの構築に取り組み、大きな成果を収めることができました。当社はこれらの成果を踏まえつつ、中長期的な市場環境の変化を予測し、「2020年度までに売上2,000億円達成」を柱とする中長期ビジョンと、その実現に向けた新中期経営計画「M1 TRUST 2015」を策定しました。



● 中長期ビジョン 2020年度までに売上2,000億円達成を目指す。

- ① ジェネリック市場での圧倒的なリーディングポジション構築による市場シェアNo1の堅持
- ② コスト競争を勝ち抜くための経営体質強化を通じたトップレベルの収益性の維持
- ③ 事業ポートフォリオの拡充に向けたシナジー効果を創出できる他事業・海外への展開

● M1 TRUST 2015のコンセプト

確固たる
「信頼」

M1 TRUST 2015

みんなで1番

● 計画(2014年度)

売上高	1,040億円(2011年度比+54%)
営業利益	210億円(2011年度比+40%)
当期純利益	135億円(2011年度比+50%)

Top Brand	ゆるぎないトップブランド
Reliability	信頼性
Unity	取引先を含めた総合力
Stable Supply	安定供給
Top Share	圧倒的シェア No1

● 基本方針と重点施策

A.ジェネリック市場での 圧倒的No1プレゼンスの確立	・新製品の確実な上市とシェア獲得 ・生産能力増強による高品質な製品の安定供給体制強化 ・保険薬局市場における売上の更なる拡大 ・基幹病院における営業品質の向上と処方医へのサワイブランドの浸透 ・卸／販社との連携強化
B.経営基盤の強化を通じた 全社コストコントロールの徹底	・原材料購買及び生産方式の最適化による製造コストの低減 ・製品ライフサイクル全体での収益最大化を目指した新製品開発プロセスの改良 ・経営管理体制の強化による販管費の最適配分
C.新規領域への戦略的投資	・海外展開へ向けた基盤構築の着手 ・ハイブリッドビジネスモデルの実現に向けた検討 ・バイオシミラー市場への参入検討

● 投資計画

2020年度の飛躍的な成長に向け、積極的な投資を実行する ■ 研究開発投資 173億円/3年 ■ 設備投資 260億円/3年

● 株主還元・資本政策

- ・内部留保と株主還元のバランスに配慮した基本方針に従い、ROE16%以上の維持を目指す。
- ・2014年度EPS(潜在株式調整前)は2011年度比50%増を目指す。

基本方針

- ・将来の成長に向けた積極的な投資資金の確保
- ・財務の健全性向上のための資本の充実
- ・配当性向30%を目処とした、安定配当の実施

ジェネリック市場拡大の好機を捉え、 さらなる成長を通じて企業価値向上を目指します。



代表取締役社長 澤井 光郎

市場環境変化の中で、飛躍的成長をとげ、 2020年度までに売上2,000億円を目指します。

政府のジェネリック医薬品(GE)使用促進策をはじめ、病院や保険薬局等の医療機関の変化、患者さんや保険者の薬剤費削減意識の高まり等により、GE市場は大きな成長が期待されています。

当社ではこの好機を捉え、さらなる成長を通じて企業価値向上を図るために、中長期ビジョンと新中期経営計画を策定しました。

中長期ビジョンでは、①GE市場での圧倒的なリーディングポジション構築による市場シェアNo1の堅持 ②コスト競争を勝ち抜くための経営体質強化を通じたトップレベルの収益性の維持 ③事業ポートフォリオの拡充に向けたシナジー効果を創出できる他事業・海外への展開により、2020年度までに売上2,000億円達成を目指します。

新中期経営計画ではGE事業のさらなる拡大と 将来に向けた投資を実行します。

新中期経営計画「M1 TRUST 2015」は、前中期経営計画「M1 TRUST」の精神を受け継ぐとともに中長期ビジョンの実現に向けた「跳躍台」と位置付けており、GE事業のさらなる拡大と将来に向けた投資を実行します。新中計期間中の投資額は、研究開発投資173億円、設備投資260億円を予定しています。

GE市場での圧倒的No1プレゼンスを確立するために、新製品開発を重視し、3年間で45成分98規格の新製品の上市を計画しています。また、関東新工場の操業、第二期工事の実施などにより、生産能力100億錠を見据えた安定供給体制の強化を図ります。営業面では、卸/販売会社との連携を強化し、保険薬局市場における売上のさらなる拡大、基幹病院における営業品質の向上と、処方医へのサワイブランドの浸透を図ります。

その一方、コスト競争を勝ち抜くために、購買や生産方式の最適化、新製品開発プロセスの改良、販管費の最適配分等、経営基盤を強化することで、全社コストコントロールを徹底し、トップレベルの収益性の維持を図ります。これらにより、新中計最終年度には売上高1,040億円、営業利益210億円、当期純利益135億円を計画しています。

また、海外展開に向けた基盤構築に着手するほか、現在のGE事業とシナジー効果の創出が期待できるハイブリッドビジネスモデルの実現に向けた検討や、バイオシミラー市場への参入検討を行います。

株主還元・資本政策では「将来の成長に向けた積極的な投資資金の確保」、「財務の健全性向上のための資本の充実」、「配当性向30%を目処とした安定配当の実施」という基本方針に従い、内部留保と株主還元のバランスに配慮し、ROE16%以上の維持を目指します。

「なによりも患者さんのために」の理念に基づき、さらなる飛躍、企業価値向上を目指してまいりますので、株主の皆さまには、ご理解と一層のご支援をお願いいたします。

平成24年度診療報酬改定で、ジェネリック医薬品の幅広い使用促進策が盛り込まれました。

診療報酬改定に盛り込まれた主な使用促進策

- ①「後発医薬品調剤体制加算」の見直し
- ②薬剤情報提供文書を活用した後発医薬品に係る情報提供の評価
- ③医療機関で後発医薬品を積極的に使用する体制評価の見直し
- ④一般名処方の推進
- ⑤処方せん様式の変更

この中でも特に注目すべきは②「薬剤情報提供文書を活用した後発医薬品に係る情報提供の評価」です。患者さんに処方された医薬品について、薬剤師がジェネリック医薬品の有無や価格の差などを文書で説明することが必要とされました。これにより、患者さんがジェネリック医薬品の情報に接する機会が増えるため、ジェネリック医薬品への変更を希望される患者さんの増加が期待されます。また、⑤「処方せん様式の変更」では、諸外国の例にならい、医薬品ごとにジェネリック医薬品への変更の可否を明示する方式になりました。これにより、従来は処方せんに記載された医薬品について「全て変更できる」「全てを変更できない」のいずれかしか選択できなかったものが、変更不可のものを除きジェネリック医薬品に変更できるようになります。こうしたジェネリック医薬品使用促進の流れに乗って、当社は積極的に営業活動を行い、ジェネリック医薬品の使用拡大と医療費節減に貢献してまいります。

「薬剤情報提供文書」を活用した 後発医薬品に係る情報提供

文書で提供される情報

- ①ジェネリック医薬品の有無
- ②価格（価格の違い）等



先発品とジェネリックとの価格差や
在庫の有無がわかるので、
ジェネリック医薬品がより身近になり、
変更しやすくなる

<イメージ>

お薬の名称	写真など	薬のはたらき	用法・用量	注意事項・相互作用・副作用など	薬価
××OD錠15	⑮	胃酸の分泌を抑える薬	1回15mgを 1日1回 経口投与する。 ……………	医師の指示を守って 服用してください。…	95.20
一般名:ランソプラゾール口腔内崩壊錠 このお薬には後発医薬品があります。 ランソプラゾールOD錠15mg「サワイ」 沢井製薬					58.00

6月に、8成分15品目の新製品を発売

主な新製品のうち、ロサルタンカリウム、パロキセチン、ゾルピデム酒石酸塩は参入メーカー数がいずれも30社以上見込まれ、激しい競争が予想されますが、当社は他社との差別化により打ち勝っていく所存です。例えば、ゾルピデム酒石酸塩の場合、先発品には無いOD錠（水なしでも服用可）の開発、マスキング技術による苦みの緩和、識別性向上のために錠剤に含量を刻印といった工夫がなされています。

映画「1リットルの涙」で有名になった難病の治療剤であるタルチレリンは薬価が高いため、当社製品は医療費節減の

お役に立てます。また、当社医療関係者向け情報サイトでは、今回の新製品の適応疾患である高血圧症、うつ病をはじめ数多くの小冊子のほか各種資料を、患者さん・医療関係者の方向けに提供しています。



ロサルタンカリウム錠
50mg「サワイ」



パロキセチン錠
10mg「サワイ」



ゾルピデム酒石酸塩
OD錠10mg「サワイ」



タルチレリン錠
5mg「サワイ」

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	当連結会計年度 平成24年3月31日	前連結会計年度 平成23年3月31日
資産の部		
流動資産	80,508	77,494
現金及び預金	26,670	30,805
受取手形及び売掛金	25,486	23,284
商品及び製品	14,673	11,593
仕掛品	4,319	4,157
原材料及び貯蔵品	6,787	5,466
繰延税金資産	1,974	1,811
その他	618	397
貸倒引当金	△ 21	△ 21
固定資産	42,891	39,561
有形固定資産	33,724	32,316
建物及び構築物	30,002	29,265
減価償却累計額	△ 12,022	△ 10,986
建物及び構築物(純額)	17,979	18,278
機械装置及び運搬具	20,544	19,264
減価償却累計額	△ 13,535	△ 12,155
機械装置及び運搬具(純額)	7,008	7,108
土地	4,845	4,949
リース資産	36	45
減価償却累計額	△ 16	△ 30
リース資産(純額)	19	14
建設仮勘定	2,401	494
その他	5,289	4,848
減価償却累計額	△ 3,820	△ 3,377
その他(純額)	1,469	1,471
無形固定資産	2,013	1,148
投資その他の資産	7,153	6,096
投資有価証券	6,785	5,702
長期貸付金	5	17
長期前払費用	41	60
その他	360	379
貸倒引当金	△ 40	△ 64
資産合計	123,399	117,056

単位：百万円

科 目	当連結会計年度 平成24年3月31日	前連結会計年度 平成23年3月31日
負債の部		
流動負債	26,931	25,810
支払手形及び買掛金	10,793	9,849
短期借入金	2,688	2,659
リース債務	7	7
未払金	6,672	7,734
未払法人税等	4,039	3,143
賞与引当金	1,152	1,086
役員賞与引当金	78	60
返品調整引当金	64	125
売上割戻引当金	883	792
その他	550	352
固定負債	37,893	40,382
新株予約権付社債	30,512	30,662
長期借入金	5,480	8,161
リース債務	14	10
繰延税金負債	82	166
退職給付引当金	93	90
役員退職慰労引当金	425	339
負ののれん	-	12
長期預り金	1,284	938
負債合計	64,824	66,192
純資産の部		
株主資本	57,779	50,635
資本金	11,900	11,814
資本剰余金	12,224	12,137
利益剰余金	33,657	26,687
自己株式	△ 3	△ 3
その他の包括利益累計額	715	110
その他有価証券評価差額金	715	110
新株予約権	70	108
少数株主持分	9	9
純資産合計	58,574	50,863
負債純資産合計	123,399	117,056

Point ① 売上高

売上高は計画をやや下回りましたが、前年同期比5.9%増加し、67,603百万円となりました。

Point ② 販売費及び一般管理費

人件費(前年同期比約8億円増)、試験研究費(同約4億円増)、広告宣伝費(同約2億円増)等、将来の成長を見据えた費用が増加した結果、販売費及び一般管理費は前年同期比10.0%増の18,187百万円となりました。

Point ③ 営業利益

売上高の増加、好採算品目の販売増加、生産性向上等により、販売費及び一般管理費の増加を吸収し、営業利益は前年同期比10.4%増の15,004百万円となりました。

● 連結損益計算書

単位：百万円

科 目	当連結会計年度 平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	前連結会計年度 平成22年4月1日～ 平成23年3月31日
① 売上高	67,603	63,853
売上原価	34,410	33,736
売上総利益	33,192	30,117
② 販売費及び一般管理費	18,187	16,530
③ 営業利益	15,004	13,586
営業外収益	462	285
受取利息	153	88
受取配当金	177	50
補助金収入	42	29
受取補償金	16	61
貸倒引当金戻入額	2	5
負ののれん償却額	12	13
その他	56	36
営業外費用	370	1,168
支払利息	163	215
資金調達費用	109	29
社債発行費	—	806
その他	97	117
経常利益	15,096	12,703
特別利益	—	598
固定資産売却益	—	598
特別損失	167	1,012
減損損失	133	—
固定資産除却損	34	126
投資有価証券評価損	—	840
固定資産売却損	—	45
税金等調整前当期純利益	14,928	12,289
法人税、住民税及び事業税	6,165	4,978
法人税等調整額	△ 263	△ 14
法人税等合計	5,902	4,964
少数株主損益調整前当期純利益	9,026	7,324
少数株主利益	0	141
当期純利益	9,026	7,183

● 連結包括利益計算書

単位：百万円

科 目	当連結会計年度 平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	前連結会計年度 平成23年4月1日～ 平成23年3月31日
少数株主損益調整前当期純利益	9,026	7,324
その他の包括利益	605	△ 43
その他有価証券評価差額金	605	△ 43
包括利益	9,631	7,281
(内訳)		
親会社株式に係る包括利益	9,631	7,139
少数株主に係る包括利益	0	141

● 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	当連結会計年度 平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	前連結会計年度 平成22年4月1日～ 平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,813	5,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,370	△ 20,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,578	24,755
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	864	10,331
現金及び現金同等物の期首残高	19,805	9,474
現金及び現金同等物の期末残高	20,670	19,805

● 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

単位：百万円

科 目	株 主 資 本					その他の包括利益累計額		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
前期末残高	11,814	12,137	26,687	△ 3	50,635	110	110	108	9	50,863
当期変動額										
新株の発行(新株予約権の行使)	86	86			173		—	△ 36		136
剰余金の配当			△ 2,055		△ 2,055		—			△ 2,055
当期純利益			9,026		9,026		—			9,026
自己株式の取得					—		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	605	605	△ 0	0	604
当期変動額合計	86	86	6,970	—	7,143	605	605	△ 37	0	7,711
当期末残高	11,900	12,224	33,657	△ 3	57,779	715	715	70	9	58,574

● 会社の概要 (平成24年3月31日現在)

社名	沢井製薬株式会社	
創業	昭和4年4月1日	
設立	昭和23年7月1日	
資本金	119億96万円	
従業員数	991名(連結)	
事業内容	医薬品の製造販売および輸出入	
販売品目	生活習慣病(高血圧症、脂質異常症、糖尿病等)治療剤、抗がん剤など医療用医薬品約570品目および一般用医薬品	
主要取引銀行	三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行	
ご採用先	国立病院など全国約7,500病院(カバー率約85.9%)、約32,700医院・診療所(約31.7%)、および約50,200保険薬局(約89.3%)	
特約店及び販売代理店	特約店	アルフレッサ(株)、(株)スズケン、東邦薬品(株)、(株)メディセオほか広域卸約30社
	販売代理店	西部沢井薬品ほか販売会社約120社、海外1社
提携会社	旭化成ファーマ(株)、積水メディカル(株)、田辺三菱製薬(株)、日本化薬(株)、バイエル薬品(株)、扶桑薬品工業(株)、Meiji Seika ファルマ(株)ほか	

● 役員 (平成24年6月22日現在)

代表取締役会長	澤井 弘行	取締役 徳山 慎一
代表取締役社長	澤井 光郎	取締役 高橋 嘉輝
常務取締役	岩佐 孝	取締役 澤井 健造
常務取締役	戸谷 治雅	取締役 菅尾 英文
常務取締役	木村 圭一	常勤監査役 松永 秀嗣
常務取締役	横浜 重晴	監査役 澤井 武清
常務取締役	小玉 稔	監査役 高橋 孝志
取締役	稲荷 恭三	監査役 小林 俊明

● 本社・事業所・グループ会社 (平成24年3月31日現在)

本社・研究所	大阪市淀川区宮原5丁目2-30
支店	札幌、仙台、さいたま、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
営業所	上信越、東京東、東京西、横浜、静岡、京都、神戸、北陸、高松、岡山、熊本
工場・研究所	九州工場、三田工場、大阪工場、関東工場、メディサ新薬九州工場、化研生薬八郷工場、製剤技術センター
子会社	メディサ新薬株式会社、化研生薬株式会社、ケーエム合同会社

● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	毎年3月31日および中間配当を行うときは毎年9月30日
基準日	定時株主総会については3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社には口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告としております。ただし、事故やその他止むを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.sawai.co.jp/ir/index.html

「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告をされる株主様は、大切に保管願います。

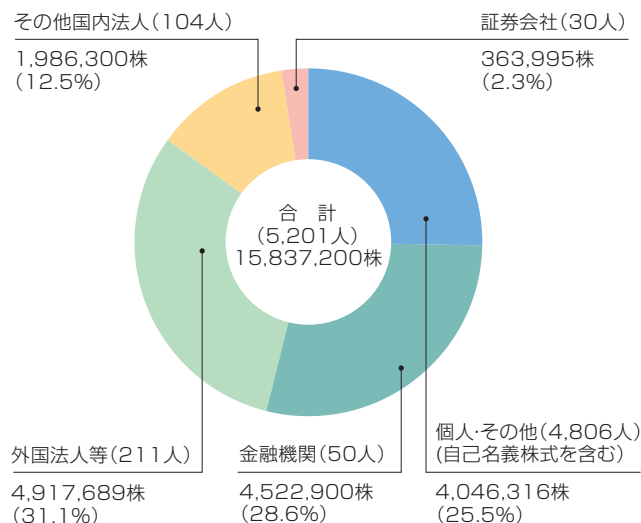
株式状況

発行可能株式の総数	38,800,000株
発行済株式の総数	15,837,200株
1単元の株式の数	100株
株主数	5,201名

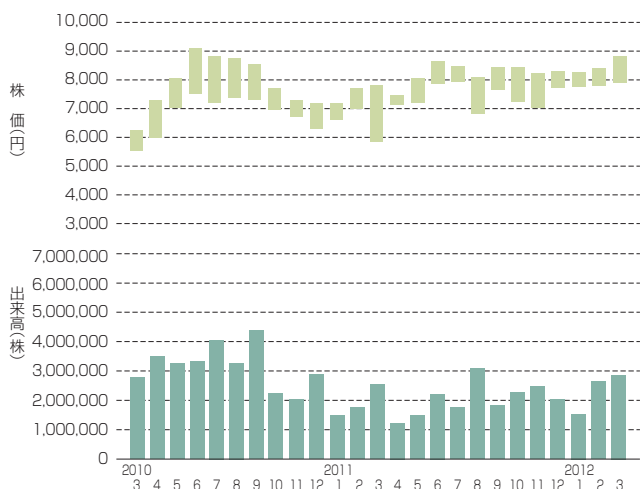
大株主

株主名	持株数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,146,000株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	766,500株
サワケン株式会社	497,000株
澤井 光郎	474,100株
澤井 健造	474,000株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	442,600株
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	320,400株
住友商事株式会社	316,600株
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505044	316,099株
澤井 弘行	315,600株

株式分布状況



株価 (高値・安値) および出来高の推移





コミュニケーション広場



患者さんの声を活かして、コーポレートサイトを全面リニューアル!

ユーザビリティ(使いやすさ)を高め、「ジェネリックといえばサワイ」のブランド構築をめざします。

当社コーポレートサイトには株主・投資家の皆さまをはじめ、一般・患者さん、医療関係者、入社希望者など、さまざまな方が訪問されています。今回のリニューアルでは、訪問者それぞれの立場に立ちユーザビリティ(使いやすさ)を高めて、必要な情報をスムーズに収集できるサイトを目指しました。

ジェネリック医薬品啓発コンテンツをメインに

当社はこれまでも新聞やテレビCMなどを通じてジェネリック医薬品の啓発を積極的に進めてまいりましたが、リニューアルしたサイトにおいてもジェネリック医薬品の啓発コンテンツをメインに据えました。サイトを通じて当社およびその事業についての理解を深めていただき、「ジェネリックといえばサワイ」のブランド構築につなげたいと考えます。

ジェネリック医薬品の有無の検索機能を導入

一般・患者さんからの使用している薬に対するジェネリック医薬品の有無を知りたいというニーズにお応えするために、製薬メーカーとして初めて、自社以外の製品も含むすべての医療用医薬品について、ジェネリック医薬品の有無を検索できる機能「ジェネリックあるのかな?検索」を導入しました。

また、文字サイズの変更機能やRSS(更新情報のお知らせ)導入といった使いやすさ向上への配慮のほか、最新の決算資料やIRスケジュールを見やすく掲載する等、「株主・投資家の皆さま向け」コンテンツも充実させました。ぜひ一度ご覧ください。



➡ 今すぐアクセス

<http://www.sawai.co.jp>

沢井製薬株式会社

大阪市淀川区宮原5丁目2-30 〒532-0003

TEL: 06-6105-5711 FAX: 06-6394-7311

URL: <http://www.sawai.co.jp>